

# 龍 竜谷通信



令和6年5月  
第2号

げんきな子  
がんばる子  
すなおな子  
くふうする子



6年生の企画による「こいのぼり集会」

1年生を見守る温かな6年生のまなざし

## 波紋の広がり

校長 手島 露子

毎朝、学校下の桑谷町石丸交差点で、学区のボランティアの皆様や、旗当番の保護者の方と一緒に、子供たちを迎えます。大事なカブトムシの幼虫の飼育ケースを抱えてくる子、集合場所で摘んだ花をプレゼントしてくれる子、新しく買ってもらった靴を見せてくれる子。一日の始まりは、優しさと温かさに満ちています。

班列の先頭と殿（しんがり）は班の中の高学年が務めてくれます。仲間を導き守る、大切な役割です。特に雨の日や、荷物が多いときなどは、歩く速さを調節したり、低学年の様子を確認したりと、細やかな気配りをしていることに感じます。面白いことに、先頭の子が相手の目を見て大きな声で挨拶をすると、必ずと言ってよいほど、その後が続く班の子たちの挨拶の声には、自然と張りが出てきます。その反対は言わずもがなで、行動や心の在り方の輪というものは、自然と広がるのだということを実感します。

「波紋が広がる」という言葉があります。波紋は、水面に物が落ちたり、一石を投げたりすることで生まれる波模様のことですから、混乱が生じている様子などを表すなど、あまり良い意味では使われません。確かに何もしなければ、水面はしんと静まり返ったまま、波風は立ちません。でも、特に変化はありません。

先日の全校朝会の日、朝から雨が降っていて、あちらこちらに大きな水たまりができていました。そこで、少し難しいとは思いましたが、「波紋」の話をしました。すると、次の日から、挨拶の様子が目に見えて変わりました。「何もしない」ではなく、良い意味での「波紋を広げる」を選択する竜谷っ子。雨上がりの空を見上げ、期待に胸が膨らむ五月です。



# 今だからこそ…

令和6年度、新学期が始まって1か月が過ぎました。新しい教室、新しい担任の先生、新しい教科書。いろいろなことに少しずつ慣れてきた今だからこそ、もう一度、当たり前のことをきちんと整えていくことが大切だと考え、全校で改めて以下のことを確認しました。ご家庭でも共有していただき、竜谷っ子の学びの基盤づくりに、ぜひご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。



## がくしゅうへん — 学習編 —

- 授業の用意、持ち物（えんぴつはきちんとけずる）など、よく確かめてから登校していますか
- 授業に関係のないものを、学校にもってきていませんか
- 学校の机やロッカーの中は、整とんされていますか
- 授業時間になったら着席して、心を整えていますか
- 机の上で、「ノート（下じきを使う）は右、教科書は左」ときちんと場所を決めて広げていますか
- ※左ききの子は、逆に置いてかまいません
- 発言するときはだまって手を挙げ、指名されたら「はい」と返事をしていますか
- 授業では、進んで自分の意見や感想などを発表するようにしていますか
- 授業では、「〇〇です」「〇〇だと思います」と、最後まできちんと話していますか
- チーム学習では、自分の考えや思いをきちんと取り組んでいますか
- チーム学習では、友達の考えや思いを大切に、学び合っていますか

来月は「遊び編」を掲載します。竜谷っ子が豊かに学び、楽しく遊ぶために、みんなで大切にしていきましょう。

## ◆学校支援に感謝いたします◆



今年度もPTA奉仕当番がスタートしました。流し掃除や草取りなど、保護者の方のお力は大変心強い限りです。



ブルーベリーファームおかざき

2年生は積極的に町探検に出かけて、学区の「人、こと、もの」に学んでいます。百聞は一見にしかず。実物に触れる感動は深い学びへとつながります。質問もとても積極的。次から次へと聞きたいこと、知りたいことがあふれます。地域のご協力を感謝いたします。



第1回「G&N Salon」

竜谷っ子の学び姿を磨くには、教師自身が学ぶことが大切です。そこで、今年度より、学びや学び方について語り合う「G&N Salon」を開設しました。Gは「Good」Nは「New」。「前向きに考え、活路を見出す」ことを目指します。第1回目のテーマは「竜谷小教育の強み」についてです。その中で新たな視点や課題も浮き彫りになりました。早速次の学びの場を計画しています。